



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 株式会社コーセー

上場取引所 東

コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	93,943	5.5	7,046	4.6	8,104	△2.1	4,140	△6.3
26年3月期第2四半期	89,044	8.4	6,733	98.8	8,280	161.2	4,417	291.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,548百万円 (△41.0%) 26年3月期第2四半期 6,013百万円 (332.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	72.57	—
26年3月期第2四半期	77.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	185,917	135,072	68.0	2,215.31
26年3月期	186,274	132,810	67.0	2,188.59

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 126,373百万円 26年3月期 124,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	21.00	—	27.00	48.00
27年3月期	—	27.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	1.6	19,000	0.3	19,300	△10.2	10,200	△8.4	178.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信（添付資料）5 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	60,592,541株	26年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,547,140株	26年3月期	3,546,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	57,045,604株	26年3月期2Q	57,046,611株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

事業区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	63,731	71.6	66,394	70.7	2,663	4.2
コスメタリー	24,512	27.5	26,670	28.4	2,157	8.8
その他	800	0.9	878	0.9	77	9.7
売上高計	89,044	100.0	93,943	100.0	4,898	5.5

区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	6,733	7.6	7,046	7.5	312	4.6
経常利益	8,280	9.3	8,104	8.6	△175	△2.1
四半期純利益	4,417	5.0	4,140	4.4	△277	△6.3

① 概況

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)における日本経済は、緩やかな景気回復の基調が続いた一方で、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動等の影響により、持ち直しが続いていた個人消費に足踏みの動きも見られました。化粧品業界におきましては、本年8月までの平成26年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、販売個数・販売金額ともに前年同期と比べ増加しました。

このような市場環境の中、当社グループは、「成長ドライバーへの注力」、「基幹ブランド事業の収益性拡大」、「経営基盤の強化」の3つを基本方針に掲げ、全社一丸となって新たな成長軌道に乗せる「攻めの改革」を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、消費増税後の反動減の影響が懸念された中、コスメタリー事業を中心に国内販売が順調に推移したことに加え、平成26年4月に買収が完了し当社の連結子会社となった米国の化粧品販売会社Tarte, Inc.の業績を当第2四半期から化粧品事業に取り込んだ結果、売上高が全ての事業セグメントで前年を上回り、前年同期比5.5%増の93,943百万円(為替の影響を除くと4.8%増)となり、過去最高となりました。

利益につきましては、積極的な広告宣伝・販売促進活動を展開したことによる増収効果及び原価低減等により、営業利益は7,046百万円(前年同期比4.6%増)となりました。経常利益は為替の影響により8,104百万円(同2.1%減)、四半期純利益は4,140百万円(同6.3%減)となりました。

② セグメント別の状況

(a) 化粧品事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	63,731	66,394	2,663	4.2
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	63,731	66,394	—	—
営業利益	百万円	6,170	6,901	731	11.9
営業利益率	%	9.7	10.4	—	—

化粧品事業につきましては、国内では、化粧品専門店や百貨店で扱う高級品の販売が堅調だったほか、新製品の投入やプロモーションを強化した「雪肌精」や「エスプリーク」が好調に推移しました。海外では、既存の海外子会社が収益性改善に向けた構造改革の過程にあるものの、買収後も順調に成長を続けている米国の化粧品販売会社 Tarte, Inc. の業績が寄与し、海外全体の売上高は増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は66,394百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は6,901百万円（同11.9%増）となりました。

(b) コスメタリー事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	24,512	26,670	2,157	8.8
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	24,512	26,670	—	—
営業利益	百万円	2,107	1,865	△241	△11.5
営業利益率	%	8.6	7.0	—	—

コスメタリー事業につきましては、テレビCM等の広告宣伝を積極的に実施したことにより、主要ブランドが総じて好調だったコーセーコスメポート(株)が牽引したことに加え、セルフメイクブランドの「ヴィセ」と「エルシア」、コンビニエンス向けブランドの売上も順調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は26,670百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は1,865百万円（同11.5%減）となりました。

(c) その他の事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	800	878	77	9.7
セグメント間の売上高	百万円	270	393	—	—
売上高計	百万円	1,071	1,272	—	—
営業利益	百万円	291	309	18	6.3
営業利益率	%	27.2	24.4	—	—

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は878百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は309百万円（同6.3%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、米国の金融緩和縮小や欧州債務問題による影響、中国をはじめとした新興国経済の減速など、先行きに懸念材料はあるものの、政府による各種政策の効果等により、緩やかながらも景気回復の動きが続いていくことが期待されます。

このような環境下、当社グループは中期経営計画の方針に基づき、経営基盤の強化を引き続き推進し、基幹ブランドのさらなる売上拡大と収益性向上を目指すと同時に、海外事業におけるグローバルブランドの育成や販路の拡大に取り組んでまいります。

当期の業績につきましては、売上高193,000百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益19,000百万円（同0.3%増）、経常利益19,300百万円（同10.2%減）、当期純利益10,200百万円（同8.4%減）を予想しております。

また、設備投資6,100百万円、減価償却費5,000百万円を見込んでおります。（Tarte, Inc. 買収関連分を除く）

平成27年3月期（通期）の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

事業区分	平成26年3月期		平成27年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
化粧品	139,527	73.4	141,600	73.4	2,072	1.5
コスメタリー	48,914	25.7	49,600	25.7	685	1.4
その他	1,606	0.9	1,800	0.9	193	12.0
売上高計	190,049	100.0	193,000	100.0	2,950	1.6

区分	平成26年3月期		平成27年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)		
営業利益	18,934	10.0	19,000	9.8	65	0.3
経常利益	21,501	11.3	19,300	10.0	△2,201	△10.2
当期純利益	11,132	5.9	10,200	5.3	△932	△8.4

※主要な為替レートにつきましては、103円/米ドル、3.5円/台湾ドル、17.0円/中国元を想定しています。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、Tarte, Inc. は第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び、支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,798	37,234
受取手形及び売掛金	31,245	26,676
有価証券	10,482	9,275
金銭の信託	12,000	11,000
商品及び製品	9,941	13,669
仕掛品	1,299	1,747
原材料及び貯蔵品	8,563	10,842
繰延税金資産	4,643	4,317
その他	1,682	1,760
貸倒引当金	△264	△303
流動資産合計	130,391	116,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,792	29,915
減価償却累計額	△18,433	△18,698
建物及び構築物(純額)	11,359	11,217
機械装置及び運搬具	12,896	12,998
減価償却累計額	△11,101	△11,174
機械装置及び運搬具(純額)	1,794	1,823
工具、器具及び備品	31,201	31,827
減価償却累計額	△26,859	△27,503
工具、器具及び備品(純額)	4,341	4,324
土地	17,015	17,003
リース資産	1,198	1,241
減価償却累計額	△608	△698
リース資産(純額)	589	542
建設仮勘定	316	484
有形固定資産合計	35,417	35,395
無形固定資産		
ソフトウェア	1,547	1,584
のれん	—	9,168
その他	3,130	9,008
無形固定資産合計	4,677	19,762
投資その他の資産		
投資有価証券	6,654	6,233
繰延税金資産	6,372	5,489
その他	2,925	2,980
貸倒引当金	△164	△163
投資その他の資産合計	15,788	14,539
固定資産合計	55,883	69,697
資産合計	186,274	185,917

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,879	6,753
電子記録債務	2,146	10,591
短期借入金	771	800
リース債務	178	160
未払金	7,741	5,766
未払費用	8,183	7,285
未払法人税等	5,912	1,454
未払消費税等	1,289	1,292
返品調整引当金	2,047	1,583
その他	727	898
流動負債合計	39,877	36,587
固定負債		
リース債務	436	409
役員退職慰労引当金	3,179	1,944
退職給付に係る負債	9,609	8,726
繰延税金負債	—	2,820
その他	360	356
固定負債合計	13,585	14,257
負債合計	53,463	50,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	118,070	120,669
自己株式	△9,079	△9,081
株主資本合計	120,229	122,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	763	895
為替換算調整勘定	1,653	499
退職給付に係る調整累計額	2,203	2,150
その他の包括利益累計額合計	4,620	3,545
少数株主持分	7,960	8,698
純資産合計	132,810	135,072
負債純資産合計	186,274	185,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	89,044	93,943
売上原価	22,063	22,437
売上総利益	66,980	71,505
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	5,630	7,123
販売促進費	18,019	18,869
運賃及び荷造費	3,315	3,653
給料及び手当	18,827	19,194
退職給付費用	630	652
法定福利費	2,726	2,964
減価償却費	1,192	1,321
その他	9,903	10,678
販売費及び一般管理費合計	60,246	64,458
営業利益	6,733	7,046
営業外収益		
受取利息	123	136
受取配当金	138	37
特許実施許諾料	20	30
為替差益	507	678
有価証券償還益	711	76
雑収入	78	114
営業外収益合計	1,579	1,074
営業外費用		
支払利息	20	4
支払手数料	4	7
雑損失	8	4
営業外費用合計	33	16
経常利益	8,280	8,104
特別利益		
固定資産売却益	4	2
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産処分損	53	75
投資有価証券評価損	1	—
投資有価証券売却損	0	—
その他	—	2
特別損失合計	54	77
税金等調整前四半期純利益	8,230	8,029
法人税、住民税及び事業税	2,844	1,927
法人税等調整額	550	1,453
法人税等合計	3,394	3,380
少数株主損益調整前四半期純利益	4,835	4,648
少数株主利益	417	508
四半期純利益	4,417	4,140

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,835	4,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	131
為替換算調整勘定	1,270	△1,183
退職給付に係る調整額	—	△47
その他の包括利益合計	1,177	△1,100
四半期包括利益	6,013	3,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,545	3,065
少数株主に係る四半期包括利益	467	483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	63,731	24,512	88,243	800	89,044	—	89,044
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	270	270	△270	—
計	63,731	24,512	88,243	1,071	89,315	△270	89,044
セグメント利益	6,170	2,107	8,277	291	8,568	△1,835	6,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△18
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,816

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	欧米	計
77,899	10,908	236	89,044

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	66,394	26,670	93,064	878	93,943	—	93,943
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	393	393	△393	—
計	66,394	26,670	93,064	1,272	94,336	△393	93,943
セグメント利益	6,901	1,865	8,767	309	9,076	△2,030	7,046

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△16
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,013

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

「化粧品」セグメントにおいて、平成26年4月1日にTarte, Inc. が連結子会社となったことによるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては9,498百万円であります。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日 本	ア ジ ア	欧 米	計
81,208	10,402	2,332	93,943

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 取得原価の当初配分額に重要な修正がなされた場合の修正内容及び金額

第1四半期連結会計期間においては、Tarte, Inc.の取得原価の確定及び取得原価の配分について、連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的な情報等に基づき暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間において、取得原価の確定及び取得原価の配分は完了しております。

当第2四半期連結会計期間における取得原価の配分の見直しによるのれんの修正額は、次のとおりであります。

修正科目	のれんの修正金額
のれん(修正前)	12,773 百万円
取得金額の調整	△38
無形固定資産	△6,370
繰延税金負債	2,909
少数株主持分	224
修正金額合計	△3,275
のれん(修正後)	9,498

2. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん(金額)

9,498百万円

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。

(3) 償却方法及び償却期間

13年間にわたる均等償却

3. のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその主要な種類別の内訳並びに主要な種類別の償却期間

商標権	3,519 百万円	14年
顧客関連資産	2,717	12年
その他	133	5年
無形固定資産 合計	6,370	